

授業力を高める入力と出力 新たな視点を得るための入力

連載②

大阪教育サークルはやし 荒井 賢一

歩いている。待っている。乗っている。走っている。食べている。

私にとっては、入力の時間でもある。

通勤は読書の時間

電車では、iPadで読書をしている。

『小四教育技術』（小学館）には、久保齋先生の連載が載っている。

「新学期になると、新たな取り組みを始める先生方が多いようですが、新たな取り組みをするのではなく、新たな視点をもつということが大切です。そうでないと、子どもたちには新鮮に映らないのです。『小四教育技術九月号』本には、それを書いた著者の主張が込められている。その人にしか知らないこと・思いつけないことがある。

それゆえ、新たな視点を得るために、読書という入力が適している。

ところで、『小四教育技術』は、デジタル

版を年間購読すれば、一誌分の購読料で小一〜小六+『総合教育技術』の七誌をダウンロードして読むことができる。

「dマガジン」は、月四百円で、さまざまな雑誌を読むことができる。

『週刊東洋経済17・9・16』で、藤原和博氏が次のように書いている。

「学校はこれから20代を中心に運営するという、とんでもない地殻変動が起こる。だからシステムチェンジをしないとけない。英語は学習塾や英会話スクールの力を使うなど、今まで学校が10割担っていたものを7割に下げて外部の力を使っていくことになる。

そして若手教員には、ICT（情報通信技術）という武器を与えることだ。できない子にはすばらしくわかりやすい動画を活用するなどすれば、力不足をカバーできる。」

教員を質的に向上させることは、本人の

努力にかかっている。

それゆえ、難しい。

一定の知的レベルや能力があれば、誰でも、子どもたちにとつての価値ある教育を効果的にできる。そんなシステムを築いていくべきなのである。

学力研も、どの子も伸ばす実践を誰もができる形で紹介することを目指している。

歩きながら食べながら聴く

家から駅、駅から学校までの途上は、ポッドキャストを聴いている。

例えば、「ドリームハート」は、「脳科学者 茂木健一郎が、日本、そして世界で、挑戦をテーマにチャレンジしている人々をゲストに迎え、その挑戦に迫っている」るラジオ番組をポッドキャストにしたものだ。今年の箱根駅伝で三連覇した青山学院大学陸上部の原 晋監督の話は、二年前の7月にこのポッドキャストで初めて聴いた。

私の場合、ワイヤレスヘッドフォンを使い、iPad内にあるポッドキャストや保存している動画を聴いている。

聴くことは、一人の外食でも可能である。

授業プラン 「渡来文化と渡行文化」

【遣唐使船の写真を提示】

「何船といえますか。」 ・ 遣唐使船

「7世紀から9世紀にかけて、日本から中国の唐をめざして、多くの人が海を渡りました。何をしに行ったのですか。」

・ 中国の進んだ文化を学びに行った。

「その結果、どんなものが中国から日本に渡って来たのでしょうか。」

ノートに書かせてから、列指名する。

・ 政治の仕組み ・ 法律 ・ 仏教の教典

・ 香料や香木 ・ 楽器 ・ 油の製法

【黒船の絵を提示】

「何という船ですか。」

「1853年の夏、4隻の黒船・軍艦が日本にやって来ました。何しに来たのですか。」

・ 日本と貿易に来た。

「日本は明治維新を経て、西洋の文化を取り入れました。どんなものが西洋の国から日本に渡って来たのでしょうか。」

・ 道路 ・ 電柱 ・ 水道 ・ 水力発電
・ 鉄道 ・ 郵便 ・ 軍隊 ・ 工場
・ 機械 ・ 散髪 ・ 学校制度 ・ 太陽暦
・ ガス灯 ・ 人力車 ・ 新聞 ・ 電話

「日本はアジアの中でいち早く西洋の文化を取り入れ、それが中国に渡って行くようになります。どんなものが渡って行ったと思いますか。」

思いつく子に発表させた後、以下のよう
なものが渡って行ったことを紹介する。

・ 和製漢語（共産・資本・政治・経済・文明など） ・ 水道設備 ・ 学校制度

【7〜9世紀 中国↓日本が、19〜20世紀 中国↑日本の地図を提示】

【19〜20世紀 日本↑西洋を提示】

「現代はどうなっていると思いますか。」
・ 日本から西洋に渡って行ってる。

「日本からどんなものが西洋に渡って行っているのでしょうか。」

挙手指名で発表させる。

・ 自動車 ・ 新幹線 ・ アニメ など

「外行語（すし・すもう・つなみ）が出なければ、教師から紹介する。」

【ロボット産業の輸出グラフの提示】

「ある産業の輸出グラフです。日本が世界シェア1位です。何でしょうか？」

・ 自動車 ・ 新幹線
「産業用ロボットです。」

【産業用ロボットの写真提示】

「ロボットの中に、遠隔操作型ロボットがあります。ラジコンのように、遠くからロボットを動かすことができるのです。」

では、遠隔操作型ロボットで何ができるでしょうか。」

・ 遠くに物を運べる。

・ 危険な所で作業ができる。

「遠隔操作型ロボットをつくることに賛成ですか、反対ですか。」

賛成・反対とその理由を書かせ、討論。

【海外の遠隔操作型ロボット（地雷除去、軍事兵器など）を紹介】

「遠隔操作型ロボットをつくることに賛成ですか、反対ですか。」

【日本の遠隔操作型ロボット「ジェミノイド」を紹介】

開発者の石黒浩教授やそのジェミノイドをできれば動画で紹介する。

「世界平和に貢献できるのは、西洋のロボットですか日本のロボットですか。」

・ 日本のロボット。

「未来のロボットづくりに、みなさんが関わっていくかもしれませんね。」